

令和7年産 美里地区の稲作情報

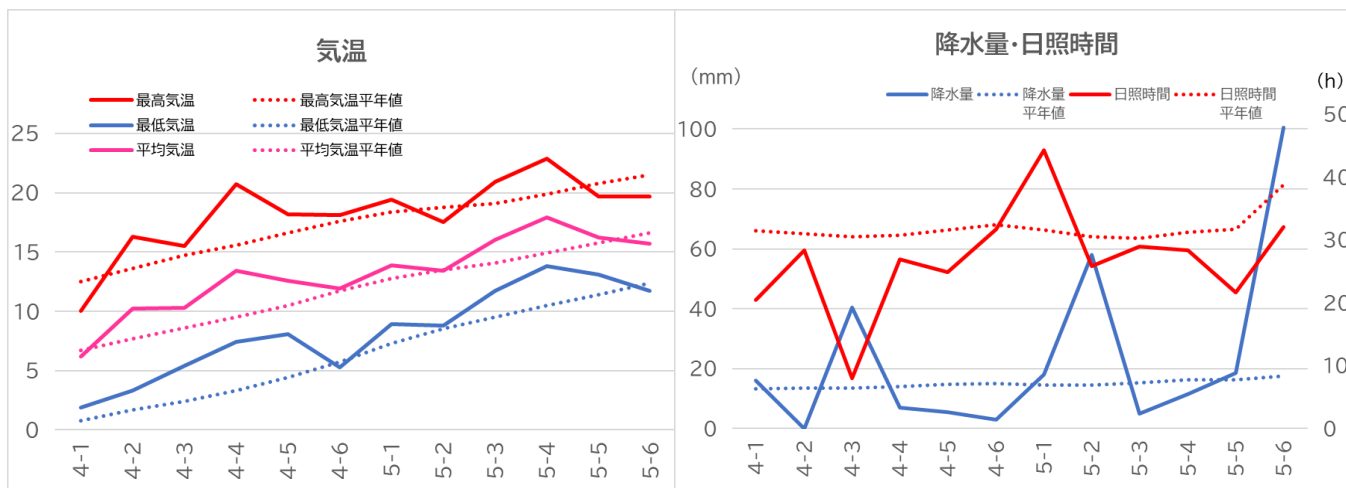
宮城県美里農業改良普及センター 第2号 令和7年6月3日発行

TEL:0229-32-3115

<https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



1. 気象経過（4～5月、アメダス鹿島台）



- ・4～5月は日によって気温の上下はあるものの、平均気温は平年を上回りました。
- 4月は降水量、日照時間ともやや平年より少なく、曇天が多くなりました。
- 5月は1mm以上の降雨日が12日と多く、今年初めて月降水量が平年を上回りました。

2. 管内生育経過

表1 管内の播種状況

		始期 (5%終了)	盛期 (50%終了)	終期 (95%終了)
管内	本年	4/3	4/12	4/19
	前年	3/30	4/7	4/14
	平年	3/29	4/8	4/16

表2 管内の田植状況

		始期 (5%終了)	盛期 (50%終了)	終期 (95%終了)
管内	本年	5/6	5/12	5/20
	前年	5/4	5/11	5/19
	平年	5/3	5/10	5/19

・播種盛期は4月12日、田植盛期は5月12日でした。近年の高温傾向等から晩期移植や育苗期間短縮の傾向があり、やや遅い播種となっています。

また、5月上旬は降雨、強風の日が多く、田植への進捗に影響したと思われます。

・3月下旬～4月上旬播種の一部では、低温の影響で出芽に時間を要しました。出芽後の病害の発生や、苗の徒長などは比較的少なく、おおむね健苗が育ち、田植え後の活着は順調でした。

表3 生育調査結果

6月2日調査結果

調査地点		品種	区分	田植 (播種)日	栽植密度 (株/㎡)	植付時茎数		草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)
						(本/株)	(本/㎡)			
移植	田尻 (桜田 高野)	ひとめ ぼれ	本年値	5月3日	16.9	4.8	80.4	25.4	115.9	4.8
			前年値	5月4日	18.2	4.1	74.6	23.5	136.5	4.9
			平年値	5月5日	16.5	4.9	79.9	25.5	110.4	5.2
			前年比・差	-1	93%	116%	108%	108%	85%	▲ 0.1
			平年比・差	-2	103%	97%	101%	100%	105%	▲ 0.4
	鹿島台 (広長)	つや姫	本年値	5月15日	15.8	5.6	88.5	19.9	99.5	4.3
			前年値	5月3日	16.0	5.6	89.6	27.5	112.0	5.3
			前年比・差	+12	99%	1.0	1.0	72%	89%	▲ 1.0
	南郷 (和多 田沼)	金の いぶき	本年値	5月19日	16.8	3.1	52.1	19.1	50.4	3.4
			前年値	5月18日	16.2	3.7	72.9	20.4	77.8	4.1
			平年値	5月7日	16.1	3.9	62.2	24.0	80.7	5.2
			前年比・差	+1	104%	84%	71%	94%	65%	▲ 0.7
			平年比・差	+12	104%	79%	84%	80%	62%	▲ 1.8
乾田 直播	小牛田 (北浦)	萌え みのり	本年値	4月7日	-			-	-	-
			前年値	4月28日	-			-	-	-
			前年比・差	-21	-			-	-	-

※平年値は過去5年間の平均値。つや姫、萌えみのりはR6年からの調査。乾田直播調査は6月10日から。

- ・5月上旬に移植したひとめぼれ調査ほではすでに分けつが出ており、草丈・茎数とも平年並みの順調な生育です。
- ・つや姫、金のいぶきは移植日が平年・前年より遅いため、草丈・茎数とも平年を下回っています。

3. 今後の栽培管理

(1)水管理

分けつの発生を促進させる水管理を実施しましょう

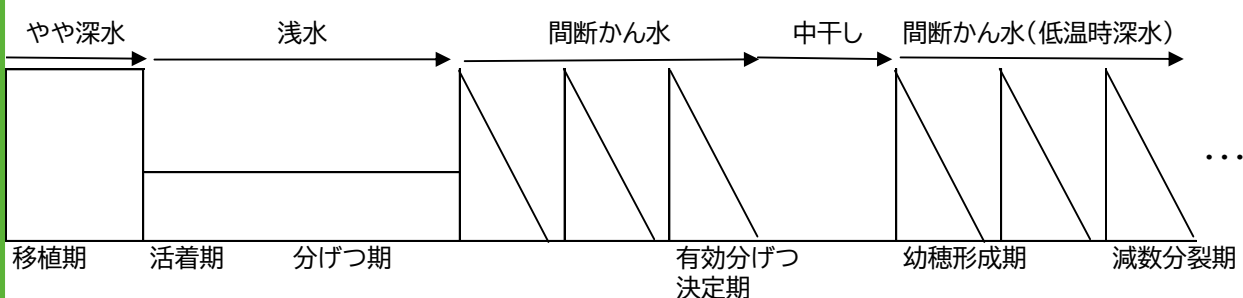
水温や地温の上昇を図るため、水深 2～3 cmの浅水または間断かん水とします。

気温の上昇とともに、ガスが発生して生育が阻害される場合があります。水田に足を入れたときに「ボコボコ」と泡が出たり、下葉が赤くなるなどの症状が見られたときは、落水して溝切り、飽水管理（水田内の足跡に水が無くなったなら入水し、表土が十分湿ったら落水する管理）を行いましょう。

<ガスが発生しやすいほ場>

- 稲わら、堆肥を多投
- 水保ちが非常に良い

慣行水管理体系（田植え～出穂前）



※ 水管理については、通水状況に応じて可能な限り実施してください。

また、藻類や表層剥離の発生が多い圃場では、水温が上がらず分げつが出にくくなるほか、除草剤の拡散が妨げられ効果にムラが生じます。

水の入れ替え、有効な薬剤を使用するなどの対策をとってください。

<藻類が発生しやすいほ場>

○窒素、リン酸が多い。

(2)いもち病対策

早急に残苗を処分しましょう

まだ、ほ場に残苗が見られます。補植が終わり次第、土中に埋めるなどして処分しましょう。畦畔の草刈りの際などに見回り、早期発見・早期防除に努めましょう。

(3)雑草対策

残草が目立つ水田では、中期・後期除草剤による追加除草を行いましょう。

除草剤体系については、右の QR コードから宮城県農作物病害虫・雑草防除指針 Web 版などを参考とし、必ず最新の登録情報をご確認ください。



<直播栽培の管理>

○湛水直播

多くのほ場では入水し、初中期除草剤を施用し終わっています。

湛水直播ほ場では根が地表近くに張るため倒伏しやすいですが、水入れ後に十分に固めできていない場合は、本葉4葉期ごろに1週間程度落水し地表を固めることで、倒伏リスクを減らすことができます。

○乾田直播

出芽後入水前に茎葉処理剤を散布し、出芽が揃った 1.5 葉期頃(ほ場全体に筋状に出芽するころ)を目安に入水します。現在は、ほとんどのほ場で入水後となっています。1度目の入水後は減水深が大きいので、安定するまで数回水入れ→減水を繰り返します。水入れ時は、完全水没の期間が長いと苗立ち数の減少を招くため、数日内にすべての苗の葉先が出る程度の深さとしてください。減水深が落ち着いたら、初中期一発剤を施用し、分げつ期は移植栽培同様に管理します。

～令和7年6月1日から労働者を雇用する事業者に対し、
労働者への熱中症対策が義務化されました～

- ✓ 早期発見のための体制整備
- ✓ 重篤化を防止するための措置の実施手順の作成



詳しくは右上の QR コードから農林水産省 HP「熱中症対策」ページ等をご確認ください。

